

答 現在、同財団に職員を派遣し中小企業支援を行い、広域商談会の共催負担、新技術開発等への支援としてオンリーワン企業育成支援事業などを連携している。今後とも連携による相乗効果を図りながら、産業育成に努めたい。

放課後児童クラブの

障害児受け入れ

問 放課後児童クラブの障害児受け入れ拡充のために、指導員研修などの対応は。

答 障害児は65クラブで受け入れている。障害児の多数を占める発達障害児への対応のため、すべての指導員が一定程度の知識を持つことができ、実践に役立つ研修を、毎年1～2回程度

実施している。平成22年度は、安心子ども基金を利用し、指導員に専門的な研修を受講してもらい、より深い知識を修得してもらう計画だ。

雑紙・蛍光管等の拠点回収

今年6月から開始

問 雑紙・食品トレイ・蛍光管の拠点回収の準備状況は。

答 雑紙回収は、平成22年6月から民間協力事業者による資源化物の常時拠点回収の中で実施する。また、食品トレイ及び蛍光管回収は、公民館等の市有施設、

民間協力事業者、市内登録電気機器販売店で同じく6月から常時拠点回収を開始する。

現在、回収かごの設置場所や回収方法の詳細については事業者と協議中であり、今後、市民への周知チラシの作成やのぼり等の資材購入の準備を進める。



リサイクル社会構築のかぎとなる拠点回収

政 隆 会

国民文化祭で

岡山の文化の魅力を発信

問 今秋開催の国民文化祭で、岡山らしい演出や工夫、目玉となる事業は。

答 後楽園やお城を背景に茶の湯でもてなす「後楽園大茶会」、岡山シンフォニーホールでの合

中心に、岡山駅前では、ウエルカムコンサート、西川緑道公園では「庭園都市おかやま」を象徴するイベント、岡山城中段広場では地元食材を使った料理や特産品、スイーツや地酒の展示即売を実施。カルチャーゾーンでは、各施設の特別展示や各種

文化団体が実施する関連事業などと連携する。また、岡山駅からカルチャーゾーン内の施設や岡山城などを周遊する無料シャトルバスを運行する。

観光・コンベンション

官民連携組織を設立

問 観光客誘致を促進するために設立する岡山ビジットアソシエーション（岡山市滞在推進協議会）の内容は。

答 民間の取り組みを促進して

いく観点から、滞在やビジネスを意識した事業展開を図っていく必要がある。平成22年度からは、官民連携による岡山ビジットアソシエーションという新たな組織を設立して、観光・コンベンションを含めた産業の振興に向け取り組みたい。

市ホームページ

自動翻訳システムを整備

問 急増する外国人観光客のニーズに対応するため、外国語版ホームページの充実が必要では。

答 本市ホームページでは、平成22年度に、英語、中国語、韓国語など世界の主要言語に対応する自動翻訳システムを整備する予定だ。

リサイクルに関する

主要指標の数値目標

問 西部リサイクルプラザを整備し、焼却灰等のセメント原料化を推進する計画の数値目標は。

答 平成21年度の資源化率は、前年比2.9ポイント増加し、約17.5%を見込んでいるが、セメ



第24回国民文化祭・しずおか2009

唱、オーケストラの祭典などは岡山を象徴する事業だ。また、マーチングバトントワリングの祭典では、「マーチングの街おかやま」をアピールするため、世界レベルのマーチングバンドを招く。期間中の土・日曜日を